

第3回 北九州市部活の未来を考える会

令和5年8月7日（月）
北九州市教育委員会

「休日の部活動のあり方」

○ 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革 概要

令和2年9月文部科学省

改革の方向性

- ◆ 部活動は必ずしも教師が担う必要のない業務であることを踏まえ、部活動改革の第一歩として、休日に教科指導を行わないことと同様に、休日に教師が部活動の指導に携わる必要がない環境を構築
- ◆ 部活動の指導を希望する教師は、引き続き休日に指導を行うことができる仕組みを構築
- ◆ 生徒の活動機会を確保するため、休日における地域のスポーツ・文化活動を実施できる環境を整備

具体的な方策

I. 休日の部活動の段階的な地域移行（令和5年度以降、段階的に実施）

- 休日の指導や大会への引率を担う地域人材の確保
(育成・マッチングまでの民間人材の活用の仕組みの構築、兼職兼業の仕組みの活用)
- 保護者による費用負担、地方自治体による減免措置等と国による支援
- 基点校（地域）における実践研究の推進とその成果の全国展開

II. 合理的で効率的な部活動の推進

- 地域の実情を踏まえ、都市・過疎地域における他校との合同部活動の推進
- 地理的制約を越えて、生徒・指導者間のコミュニケーションが可能となるＩＣＴ活用の推進
- 主に地方大会の在り方の整理（実態の把握、参加する大会の精選、大会参加資格の弾力化等）

○ スポーツ庁（R4.6）・文化庁（R4.8）提言（抜粋）

- まずは、**休日から段階的に地域移行していく**ことを基本とする
- 目標時期：令和5年度の開始から3年後の令和7年度末を目途
- 平日の地域移行は、できるところから取り組むことが考えられ、地域の実情に応じた休日の地域移行の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進

○ 学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン【概要】

- まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進
- 平日の環境整備はできるところから取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進
- 令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として地域連携・地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す

「休日部活動のあり方」

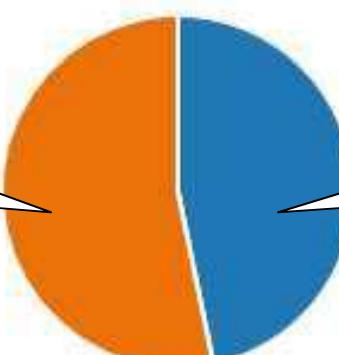
○ 部活動地域移行に関するアンケート調査（教員用）

※速報値 ※回答者数 1155人

Q 現在、担当している部活動の指導を継続したいですか。

継続したくない
53%

継続したい
47%

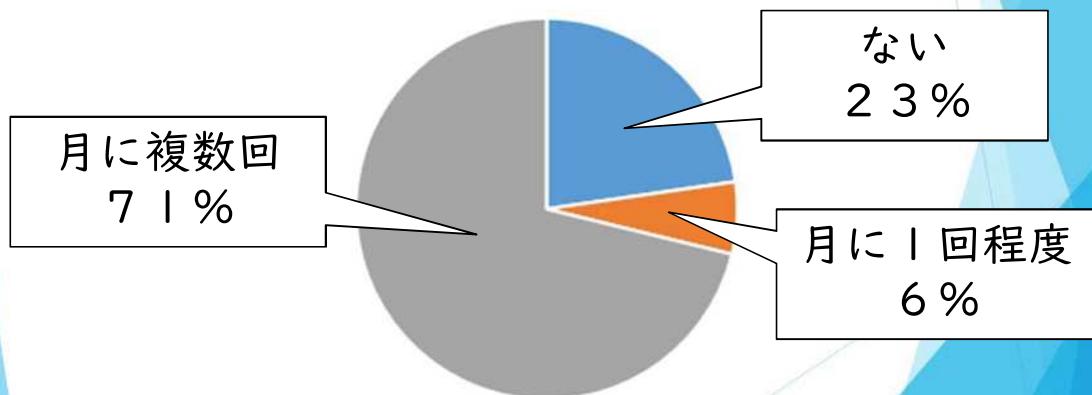


「休日部活動のあり方」

- 部活動地域移行に関するアンケート調査（教員用）

※速報値 ※回答者数 1155人

Q 土日・祝日に部活動に従事することはありますか。

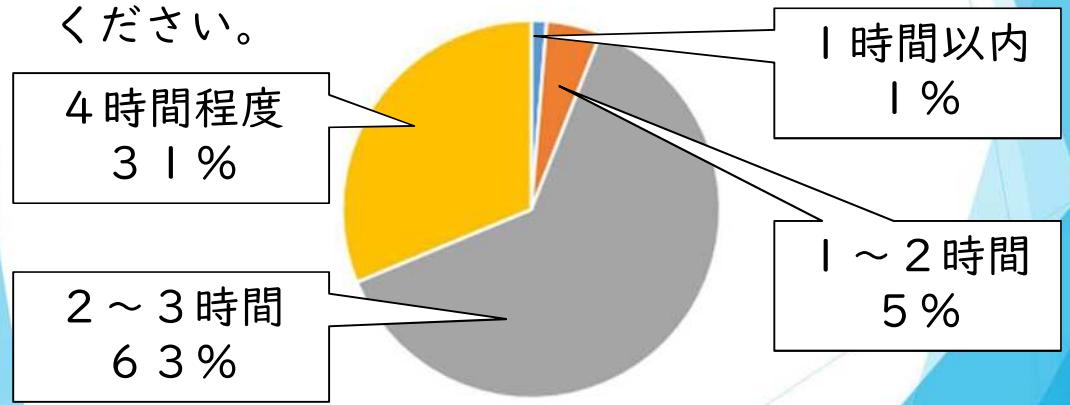


「休日部活動のあり方」

- 部活動地域移行に関するアンケート調査（教員用）

※速報値 ※回答者数 1155人

Q 土日・祝日の1回の練習指導従事時間を教えてください。



「休日部活動のあり方」

○ 部活動地域移行に関するアンケート調査（教員用）

※速報値 ※回答者数 1155人

Q 土日等 1 回の練習試合、合同練習に要する平均時間
を教えてください。

6～7 時間 4 %

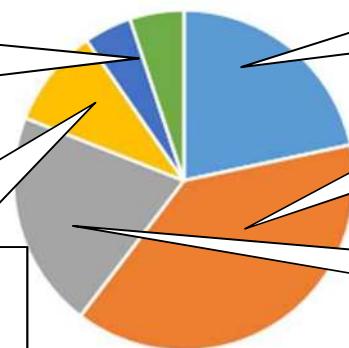
7 時間以上 5 %

5～6 時間 9 %

3 時間以内 22 %

3～4 時間 39 %

4～5 時間 21 %



「休日部活動のあり方」

○ 部活動地域移行に関するアンケート調査（教員用）

※速報値 ※回答者数 1155人

Q 土日等 1 回の大会・コンクール等の引率に要する
平均時間 を教えてください。

7 時間以上 42 %

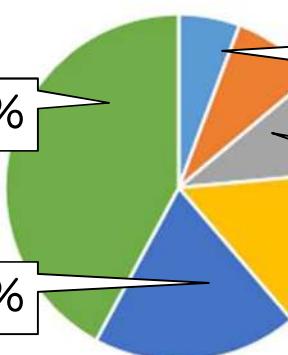
6～7 時間 19 %

3 時間以内 6 %

3～4 時間 8 %

4～5 時間 10 %

5～6 時間 15 %

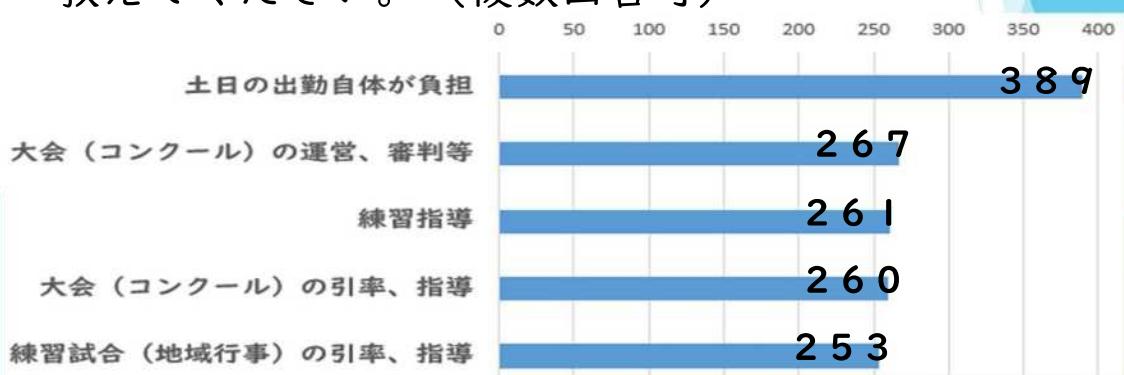


「休日部活動のあり方」

○ 部活動地域移行に関するアンケート調査（教員用）

※速報値 ※回答者数 1155人

Q 土日等の部活動従事業務で負担だと思う項目を教えてください。（複数回答可）

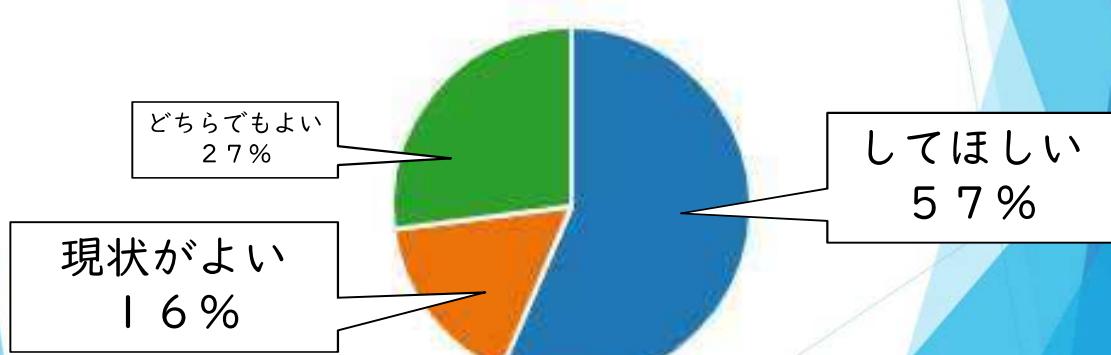


「休日部活動のあり方」

○ 部活動地域移行に関するアンケート調査（教員用）

※速報値 ※回答者数 1155人

Q 中学校の部活動を地域移行してほしいですか。



「休日部活動のあり方」

○ 部活動地域移行に関するアンケート調査（教員用）

※速報値 ※回答者数 1155人

Q 報酬が支払われるなら、地域移行後も指導したいと思いますか。

報酬が支払われても、
指導したくない

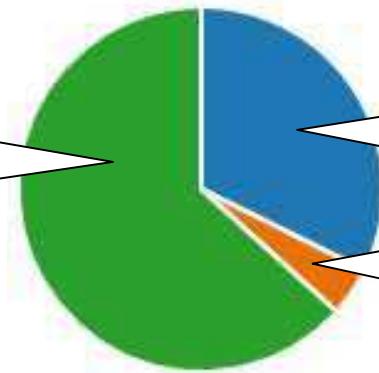
63%

報酬が支払われて、専門種
目が指導できるなら、指導
をしたい

32%

報酬が支払われるなら、専
門種目が指導できなくても、
指導をしたい

5%



○ 議事について

【方向性】

- 休日部活動を地域へ移行する

【具体的な内容】

- いつから休日部活動を移行していくのか
⇒ まずは月に1日等、段階的に実施してはどうか
- いつまでに移行するのか
⇒ 令和7年末を目指してはどうか
- 休日からか、それとも、平日も同時並行か
⇒ 休日から始めてはどうか